

愛媛県理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 6 名

立候補者数 : 4 名



氏名 菊池 健蔵

都道府県士会 愛媛県

年齢 54

勤務先名称 松山市民病院

協会・士会役員歴

平成16年度～23年度 (社)愛媛県理学療法士会 財務部長
 平成18年度～23年度 (社)愛媛県理学療法士会 理事
 平成22年 (社)日本理学療法士協会 第45回全国学術研修大会財務部長
 平成22年度～23年度 (社)愛媛県理学療法士会 公益社団法人改革委員会委員
 平成24年度～25年度 (公社)愛媛県理学療法士会 理事
 平成25年度 (公社)日本理学療法士協会 代議員
 平成26年度～27年度 (公社)愛媛県理学療法士会 相談役
 平成28年度～現在 (公社)愛媛県理学療法士会 監事

立候補の趣旨

私は、公益社団法人日本理学療法士協会の代議員として選挙に立候補致します。日々の臨床の中で強く感じるのは、活力ある団体は、権利等を与えられるのを待っているだけではなく、自ら歴史を創り上げているということです。すなわち、自分たちの地位、待遇を向上させようと常に努力しているのです。我々も現状に甘んじるのではなく、新たなステージを求めて努力しなければなりません。

そのために、自分たち一人一人が考え、判断し、行動出来る様にならなければいけないと思います。

公益社団法人日本理学療法士協会は、そのための道しるべでありリーダー的組織であります。より強固な組織になるためには、個人、県士会、協会の三者による連携が必要だと感じます。それにより、より良質な理学療法が提供でき、その結果、国民から信頼される理学療法士になれるのではないのでしょうか。

私は、公益社団法人愛媛県理学療法士会で、財務部門、公益社団法人改革委員会を中心に活動して参りました。その経験を基に、代議員として地方の現場の意見を、協会に送り届けようと思っております。

以上、微力ではございますが、全力を尽くして参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



氏名 山崎 祐司

都道府県士会 愛媛県

年齢 46

勤務先名称 今治第一病院

協会・士会役員歴

(平成30年1月現在)
 平成18年～平成21年 (社団法人)愛媛県理学療法士会 教育部 副部長
 平成22年～平成23年 (社団法人)愛媛県理学療法士会 保健福祉部 部長
 平成24年～現在 (公社団法人)愛媛県理学療法士会 理事

立候補の趣旨

我々理学療法士を取り巻く制度・環境が急激に変化していくなか、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の様々な分野で理学療法士が活躍する場が徐々に広がり、また期待も高まっているように思われます。その中で、国民一人ひとりがよりよく生きるために、国は“地域包括ケアシステム”の構築を進めております。この新しいニーズにしっかりと応え地域貢献ができるよう、“介護予防・地域リハビリテーション”の分野において積極的にシステムづくりに取り組んでおります。しかし、この分野での理学療法士の役割はまだ十分に発揮されていないように思われます。その役割とは、地域の中でそれぞれの専門職をつなげ総合的にマネジメントしコーディネートすることではないかと思っております。我々理学療法士に求められる社会的な期待とその責任をしっかりと果たせられるよう、これまで以上に他職種との連携を柔軟かつ迅速に取り組んでいきたいと思っております。与えられた役割の中で、できうるかぎり尽力してきたいと思っております。



氏名 金山 浩基

都道府県士会 愛媛県

年齢 48

勤務先名称 四国中央医療福祉総合学院



氏名 木口 大輔

都道府県士会 愛媛県

年齢 42

勤務先名称 愛媛県立中央病院

協会・士会役員歴

平成25年～平成30年 愛媛県理学療法士会 事務局 組織強化部担当理事
 平成28年～平成29年 日本理学療法士協会 代議員

協会・士会役員歴

2016-2017年 日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

近年の社会全体の流れとして、社会をよくするために、地方の役割の重要性について言われている。理学療法士も、今後はそれぞれの地方での活動が、理学療法士をアピールしていくうえで、重要になると思われる。

今後も理学療法士を取り巻く環境は、様々に変化していくと思われる。それぞれの地方が、その地方の特色等に、マッチした活動を行って行くと同時に、他の地方で活動していることを参考に、よりよい活動を行って行くことが重要となる。

また、今までは、中央から地方に対して、様々なことが下りてくるような体制だったと思うが、今後は地方からの要望などを、中央に伝えていくことが重要になると思われる。

この先も、理学療法士がステータスを持って働くことができるように、微力ではあるが、活動していきたい。

立候補の趣旨

現在の理学療法士の課題について提言し、理学療法・リハビリテーション医療の発展に寄与したいと考えます